

平成31年度一級水先人新人研修の実施

日本水先人会連合会では、毎年、新たに全国の水先人会に入会した水先人を対象に「新人研修」を実施しています。

本年度は4月18～19日（2日間）に一級水先人32人が同研修を受講し、水先人に必要なBRM-P（Bridge Resource Management for Pilot）を学びました。

研修の最後には、受講生から今後の水先業務遂行にあたる心構えとして「相手の目を見て笑顔で挨拶し、よい雰囲気づくりを心掛けたい。」、「自分の操船意図を積極的に開示し、安全で安心を与える操船に努めたい。」、「水先人の行動に気になることがあれば、遠慮なく質問するよう、本船船長及び乗組員に要請したい。」、「単なる情報共有にとどまらず、本船が置かれている状況について、ブリッジメンバーと同じ認識を持てるようにしたい。」などの抱負が述べられ、BRM-Pの実践に対する意欲を確認することができました。

受講された水先人各位のご健康とご活躍をお祈り致します。



研修の風景